

03 公民館や学校 など公共施設に ついて個別に検証

市内全ての公共施設を徹底的に分析し、
検証しました。

限られた財源の中で、安心・安全かつ利用満足度の高い施設サービスを今後も維持していくためには、本来に必要な施設やサービスとは何かについて、検証をしていく必要があります。

そこで、公共施設を今後どう維持管理していくかについて、地区別の将来推計人口や市民アンケート調査、また久喜市公共施設個別施設計画検討委員会、パブリック・コメントなどの結果を踏まえて、個別の公共施設における具体的な検討時期や今後の方向性を示した「久喜市公共施設個別施設



久喜市公共施設 個別施設計画策定



詳しい内容は、
市ホームページ
からご覧になれ
ます

安心・安全かつ利用満足度の高い施設サービスを維持し、次世代へ魅力ある公共施設を引き継ぐため、施設の適正な配置や対策費用の平準化を実践していくための基本方針や方向性、年次計画などを定めています。

計画」を策定しました。

本計画では、個別の施設ごとに、置かれた現状や課題等を踏まえて、施設の適正な配置等について基本方針を定めています。

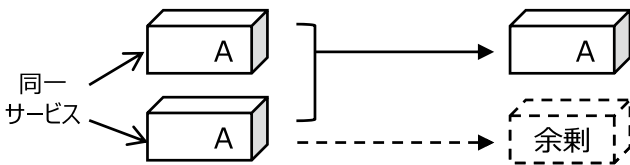
■配置計画

公民館や学校など市内182の施設全てについて、集約化や複合化など、さまざまな手法からそれぞれの施設に適した方策を検討しています。

方策例

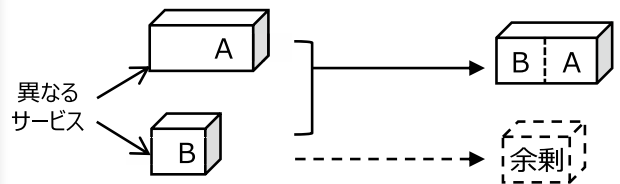
◆集約化

同一サービスの複数施設をより少ない施設規模や数に集約することをいいます。



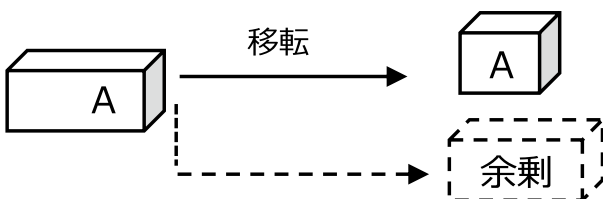
◆複合化

余剰・余裕スペースについて、異なる機能を統合し、複数の機能を有した複合施設として整備することをいいます。



◆機能移転

他の施設の余剰スペース等に機能を移転して、サービスの提供を継続することをいいます。



◆民間施設の活用

サービスの提供に周辺の民間施設を活用することをいいます。

